

Top Interview

トップインタビュー

— 変革に挑む —

まとめ／堀水潤一 撮影／相坂紀子

北海道工業大学
学長
菅米地司



工学と医療の連携を軸に 3学部12学科に改組予定。

道内随一の実践教育を展開したい

本

学は2014年度、大規模な学部・学科の再編を計画しています。具体的には、創生工学部と空間創造学部を「工学部」に統合し、医療工学部を「保健医療学部」（仮称）に名称変更したうえで、診療放射線学科、理学療法学科、看護学科を新設予定です。また、義肢装具学科の定員を増やします。「未来デザイン学部」については現在の2学科体制を維持しつつ、人間社会学科のカリキュラムを全面的に見直します。

15年には、同一法人である北海道薬科大学が本学キャンパスに移転する予定です。これにより工学と医療の連携がますます進むことでしょう。

看護や理学療法など、新しい分野に踏み出す医療工学部（保健医療学部）の再編にしても、長年、本学が工学で培ってきた知識や技術、教育手法、さらには「ヒューマニティとテクノロジーの融合」といった理念を大いに生かします。義肢装具学科を例にとれば、人体についての知識だけでなく、それをアシスト・制御する機械や情報についての知識、さらには人を思いやる人間性が欠かせないのは自明です。

13年に「人・体研究所」を設置する理由も、医療・工学などという従来の専門領域を超えた研究を行うため。同様に、エネルギー・環境問題に対応するべく12年に設置された「寒地環境エネルギーシステム研究所」も、機械・電気・建築・土木など関連分野の教員が学科を超えて連携しています。

【学長プロフィール】とまべち・つかさ●1953年生まれ。北海道工業大学工学部建築工学科卒業。東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。北海道工業大学講師、助教授などを経て、95年教授。副学長を経て、2011年4月より現職。

【大学プロフィール】1967年開学。創生工学部（機械システム工学科、情報フロンティア工学科、電気デジタルシステム工学科）、空間創造学部（建築学科、都市環境学科）、医療工学部（医療福祉工学科、義肢装具学科）、未来デザイン学部（メディアデザイン学科、人間社会学科）。2014年度に改組予定。

創立以来、実学を重視している本学が育てたいのは、実質的に社会を支える人材です。日本社会がピラミッド状の構成になっていることは否定できません。しかし、その大きなピラミッドは、無数の小さなピラミッドから成り立っていることも事実です。なのに、多くの人が、適性や能力を顧みず、漠然と大きなピラミッドの頂点のみを目指そうとしています。私たちのスタンスは違います。育てたいのは、社会を支えながら、小さなピラミッドの頂点に立てる人材です。幸い、就職難にもかかわらず、本学には中小企業を中心に多くの求人があります。今年は4000社。就職希望者が700人弱ですから大変な数です。小さくても優良な企業はたくさんあります。また、あまり知られていないけれど、社会が期待する新しい技術系の職業はいくらもあります。高校の進路指導の先生には、そうしたところにも目を向けて、生徒の可能性を広げるような指導をしていただけたら誠にありがたく思います。

私たちは、若者のやる気を大切に育てたい。大きなピラミッドの頂は一部の大学に任せます。それが、偏差値という評価軸に縛られ続けている教育に対する挑戦です。